

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128000
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	映像作品撮影事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
	②支出の根拠					関市映像作品撮影事業補助金交付要綱	
						<input checked="" type="checkbox"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						<input checked="" type="checkbox"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
	③支出先					(株)IROHA STANDARD (株)ファニーパンドラ	
				<input type="checkbox"/>	(5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="checkbox"/>	(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/>	国の負担あり	負担割合	3/8	負担額	7,500千円
		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対 象	市内で映画を撮影する者				に対して	
	手 段	映画の撮影を補助し、また撮影された映画の公開				を行うことで	
	受益者	市内観光事業者を始めとする地域全体				が(を)	
	意 図	知名度が向上し、観光客や市内消費の増加により活性化する				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 6 月 30 日 ~ R 6 年 3 月 29 日		補助開始年度	令和 5 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>		その他 ()
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	<input type="radio"/>	補助率を定めている→補助率	1/2以内
	-	-	20,000	20,000	<input type="checkbox"/>	単価を定めている→算式	
		<input type="checkbox"/>	定額補助	<input type="radio"/>	その他	(上限1千万円)	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		%	<input type="radio"/>	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている(撮影等によるPR)	
	交付先の事業成果は向上しているか	している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	R5で補助を休止した場合は影響あり	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	当補助事業は令和5年度及び6年度の2年度に亘る事業であり、また補助事業の顕著な影響・効果が表れるのは映画公開後の令和6年度末以降である。そのため令和6年度末以降改めて補助事業を評価し、今後の補助内容について検討したい。					

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128000
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	令和5年度観光庁広域周遊事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
						<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市補助金等交付規則	<input checked="" type="checkbox"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
							<input checked="" type="checkbox"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
	③支出先					NPO法人ORGAN	<input type="checkbox"/>	(5)個人に対する補助金・負担金
							<input type="checkbox"/>	(6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	NPO法人ORGAN				に対して		
	手段	訪日外国人旅行者向けのコンテンツ造成や受入体制の整備、旅行商品の造成・販売のための補助				を行うことで		
	受益者	市内観光事業者を始めとする地域全体				が(を)		
	意図	訪日外国人旅行者等の増加により活性化する				という状態にする		
⑥期間	R 5 年 5 月 25 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	令和 5 年度				
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	<input type="radio"/>	補助率を定めている→補助率	1/2	
	-	-	4,998	-	<input type="checkbox"/>	単価を定めている→算式		
						<input type="checkbox"/>	定額補助	<input type="checkbox"/>
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円		
	R5歳入に占める補助金の割合		%	<input type="radio"/>	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	一定の効果あり	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	なし(単年度事業のため)	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2補助内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4統合を検討	<input type="radio"/>	5終期を設定	<input type="checkbox"/>	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128025
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	あじさいまつり事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			/ (3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				/ (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
	③支出先			□(5)個人に対する補助金・負担金		
				□(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市板取あじさいまつり実行委員会				に対して
	手段	あじさいに因んだイベントやあじさいの管理等に要した費用の一部補助				を行うことで
	受益者	市民及び板取地域に訪れた人々				が(を)
	意図	交流産業の推進並びに板取地域の振興を図るとともに、自然環境保全に対する意識を高める				という状態にする
⑥期間	R 5 年 4 月 17 日 ~ R 5 年 10 月 16 日		補助開始年度	平成	17	年度
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	1,382	4,500	5,000	5,000	単価を定めている→算式	
					○定額補助	□その他 ()
②過去における見直し状況	令和3年度より50万円増額					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	5,496千円	R5歳出決算額	5,496千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		91.0%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適切か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	□ 2補助内容を見直す	□ 3縮小・減額を検討
	□ 4統合を検討	□ 5終期を設定	□ 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	あじさいを通じて板取地域が活性化するよう魅力的な催しを実施することが求められる。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128035
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	ふるさと夏まつり事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠			関市観光振興事業補助金交付要綱		
③支出先		関市武芸川ふるさと夏まつり実行委員会				
④国・県の負担		○なし		国の負担あり	負担割合	負担額 千円
				県の負担あり	負担割合	負担額 千円
⑤支出の目的	対象	関市武芸川ふるさと夏まつり実行委員会			に対して	
	手段	花火大会及び盆おどり大会等の開催に伴う補助			を行うことで	
	受益者	武芸川地域の住民及び同地域			が(を)	
	意図	住民相互の連帯感を高め、また地域の産業及び観光が発展する			という状態にする	
⑥期間	R 5 年 6 月 29 日 ~ R 6 年 1 月 12 日		補助開始年度	平成 17 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 (武芸川まちづくり委員会)		
⑧構成員の負担	○ 負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	-	-	3,000	3,500	単価を定めている→算式	
				○ 定額補助	その他 ()	
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	6,164 千円	R5歳出決算額	6,164 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R5歳入に占める補助金の割合		48.7 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	○ 2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	物価高騰に伴う花火打ち上げ費用や警備費用の高騰、また事故防止のための警備の強化により経費が増大しており、同じ規模でイベントを継続するためには、協賛金などの自主財源の確保とともに補助金の増額が求められる。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128045
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	津保川花火大会事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
	②支出の根拠			○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
③支出先		津保川イベント実行委員会			/ (3)一般負担金(団体等への負担金など)		
					/ (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
					(5)個人に対する補助金・負担金		
					(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	津保川イベント実行委員会				に対して	
	手段	花火大会の開催に伴う補助				を行うことで	
	受益者	武儀地域及び上之保地域の住民及びこれらの地域				が(を)	
	意図	住民相互の連帯感を高め、また地域の産業及び観光が発展する				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 7 月 7 日 ~ R 6 年 3 月 8 日		補助開始年度	平成 22 年度			
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()		
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	-	-	3,700	-	単価を定めている→算式	
					○定額補助	その他 ()
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	6,315千円	R5歳出決算額	6,315千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		58.6%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	○ 2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	物価高騰に伴う花火打ち上げ費用や警備費用の高騰、また事故防止のための警備の強化により経費が増大しており、同じ規模でイベントを継続するためには、協賛金などの自主財源の確保とともに補助金の増額が求められる。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128050
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市新型コロナウイルス感染症対策 経営安定支援補助金				補助 金 の 分 類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市新型コロナウイルス感染症対策 経営安定支援補助金交付要綱				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	指定管理者				/(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	④国・県の負担		○なし				/(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
				国の負担あり		負担割合	
			県の負担あり	負担割合			負担額 千円
⑤支出の目的	対 象	新型コロナウイルス感染症の影響により公の施設等の運営等に 支障が生じている公の指定管理者				に対して	
	手 段	支援金の交付				を行うことで	
	受益者	指定管理者				が(を)	
	意 図	経営が安定する				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日			補助開始年度	令和 5 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	○ 負担なし		負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	-	-	3,196	-	単価を定めている→算式	
②過去における 見直し状況						定額補助 ○ その他 (補助対象経費の12/11)
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適切か	○ 適切
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	○ 把握している
	支出額・補助率は適正か	○ 適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	○ 一定の効果あり
	交付先の事業成果は向上しているか	○ 現状維持
	補助を休止・廃止した場合の影響は	○ なし(単年度事業のため)

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	○ 5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128060
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	刃物まつり事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市観光振興事業補助金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					関市刃物まつり実行委員会	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							(5)個人に対する補助金・負担金
							(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	関市刃物まつり実行委員会				に対して	
	手段	刃物まつり開催に伴う補助				を行うことで	
	受益者	観光客、関市、関市の刃物関連業者				が(を)	
	意図	関市内観光の振興及び住民の交流促進を図り、地域の活性化及び発展並びに経済発展に寄与する。				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 5 月 24 日 ~ R 6 年 3 月 27 日		補助開始年度	昭和 43 年度			
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()		
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	9,120	10,947	13,255	15,000	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	13,953千円	R5歳出決算額	13,953千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		95.0%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適切か	適正
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	○ 2補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	人件費及び物価の高騰により、開催に伴う会場警備費やシャトルバス運行費などの会場整備費が高みつつあるため、同規模でイベントを継続するには補助金の増額が不可欠である。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128060
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市民花火大会事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
	②支出の根拠 関市観光振興事業補助金交付要綱					<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
						<input checked="" type="checkbox"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 関市民花火大会実行委員会					<input checked="" type="checkbox"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
						<input type="checkbox"/>	(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担					<input type="checkbox"/>	(6)その他		
<input type="checkbox"/>					なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合	
⑤支出の目的				<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円
				対 象	関市民花火大会実行委員会				に対して
手 段		関市民花火大会開催に伴う補助				を行うことで			
受 益 者		地域住民及び関市に訪れた人々				が(を)			
意 図		コロナ禍で疲弊した地域の復興を図るとともに、コロナ禍で希薄になった地域住民及び来訪者の交流を再生促進させる				という状態にする			
⑥期間	R 5 年 5 月 16 日 ~ R 6 年 2 月 1 日	補助開始年度	平成 22 年度						
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率			
	-	6,577	8,802	10,000	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助	<input type="checkbox"/>	その他 ()
②過去における見直し状況	なし							
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	17,473 千円	R5歳出決算額	17,473 千円	翌年度繰越額	0 千円		
	R5歳入に占める補助金の割合		50.4 %	決算額を把握していない				

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適正	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	物価高騰に伴う花火打ち上げ費用や警備費用の高騰、また事故防止のための警備の強化により経費が増大しており、同じ規模でイベントを継続するためには、協賛金などの自主財源の確保とともに補助金の増額が求められる。					

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128065
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	観光協会事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市観光協会補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 (一社)関市観光協会					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					○なし
県負担あり 負担割合 負担額 千円						
⑤支出の目的	対象	関市観光協会			に対して	
	手段	関市の観光産業の発展に伴う補助			を行うことで	
	受益者	関市、観光事業者、刃物産業をはじめとする市内の事業者、飲食店をはじめとする市内店舗、観光客			が(を)	
	意図	観光、産業並びに地域の活性化及び経済効果を生む			という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 4 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	昭和 43 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○ 負担あり	負担額 1会員 あたり 5,000 円		

(個人会員の場合3,000円)

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	22,548	20,763	44,564	47,000	単価を定めている→算式		
②過去における見直し状況	なし					○ 定額補助	その他 ()
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	75,037 千円	R5歳出決算額	73,670 千円	翌年度繰越額	1,367 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		59.4 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助することが適切か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	概ね達成できている	事業の拡大と人件費増大のバランス
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	市、まちづくり会社その他団体との役割を整理し、観光事業を行う社団法人としての実施すべき内容を検討する必要がある。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128065
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	鵜飼維持保存対策事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
	②支出の根拠						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	小瀬鵜飼維持保存対策補助金交付要綱						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
	③支出先						(5)個人に対する補助金・負担金
	小瀬鵜飼保存会						(6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	小瀬鵜飼保存会				に対して	
	手 段	小瀬鵜飼の維持保存の対策				を行うことで	
	受益者	鵜匠、船頭及び鵜飼関連事業者				が(を)	
	意 図	鵜飼文化の維持、保存、継承に貢献する				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 20 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	昭和	40	年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()				
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	18,191	19,059	20,000	22,000	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	小瀬鵜飼保存会からの要望を受け、令和6年度より物価高騰に対応するべく補助金の増額を行った。令和6年度はこの増額による効果を検証しつつ、今後も必要があれば補助金額について小瀬鵜飼保存会と協議を行いたい。		